将来像 東アジアのビジネスハブ※

福岡都市圏は国際競争力を備えた、アジアで最も持続可能な地域を目指します。

※東アジアのビジネスハブとは…日本・中国・韓国・台湾などとのビジネス交流・開発・営業の拠点となり多様な人材が訪れ、働き暮らしている都市。

FDCとはどのような組織？

福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.）とは、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために成長戦略の策定から推進までを一貫して行う、産学官民一体のシンク&ドゥタンクです。福岡都市圏を核として、九州、さらには隣接するアジア地域との連携を図り、事業性のあるプロジェクトを推進していきます。

FDC設立趣意

○地域経済のグローバル化（国際競争力強化）
○産学官民が一体となったプラットフォーム
○迅速な戦略の実行（事業組成など）
○地域の成長モデルを福岡から世界に発信し、九州、日本、人類の発展に貢献

> 質を重視した成長へ

FDCの成り立ち

①国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）への参加により都市圏単位の産学官民連携が重要であることの共通認識を得た。
②「産学官民連携主体による地域づくり推進事業」にて、官民連携・民の政策過程関与が自発的な地域の活性化につながるとの共通認識を得た。

FDCの目指す姿

FDCは200を超える会員を中心に、国際都市や国際機関との連携により、オープンイノベーションプラットフォームとして機能する事で、公共政策の連動や、会員企業の新規事業創造、スタートアップの成長などを通し、新たなサービスやテクノロジーの社会実装を推進します。

リーダー Leader

産

会長

一般社団法人九州経済連合会
会長
麻生　泰

国内経済が伸びない中で伸びる条件を持っている福岡市及び周辺地区の発展の可能性、使命、責任は大きい。アジアと隣接し、空も港も整備が強化され、首長にも恵まれています。FDCをベースにこの街を伸ばします。

学

副会長

国立大学法人九州大学
総長
久保　千春

社会が目まぐるしく変化する現代において、学術機関である大学が企業や自治体と連携して地域の発展に寄与することは非常に重要です。その理念を体現するFDCという組織のさらなる発展を目指していきます。

官

副会長

福岡都市圏広域行政推進協議会
会長（福岡市長）
髙島　宗一郎

FDCは今や、福岡都市圏の発展のために欠かせない組織に成長を遂げました。都市圏自治体にとっても、産学官民がタッグを組んで新たなビジネスや事業を創造するFDCは、大変貴重な存在です。今後も果敢に、さまざまなチャレンジを重ねてまいります。

福岡地域戦略推進協議会 事務局

福岡アジア都市研究所内URCオフィス　〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6階

TEL.092-733-5682 FAX.092-733-5680

URL http://www.fukuoka-dc.jpn.com　E-mail info@fukuoka-dc.jpn.com

Fukuoka D.C.

Fukuoka Directive Council

福岡地域戦略推進協議会

Fukuoka D.C.

FDCの事業化支援

大きく2つの支援体制が存在し、事業創出プラットフォーム機能として、地域戦略に基づくビジネス開発や移出企業の成長を支援しています。

2つの支援体制

部会

部会長のもとで地域戦略に基づき産学官民が連携して福岡都市圏の大枠の方向性や、公共政策を伴う政策立案と実行を行う**政策連動**。

FDC Launch Program（FLaP）

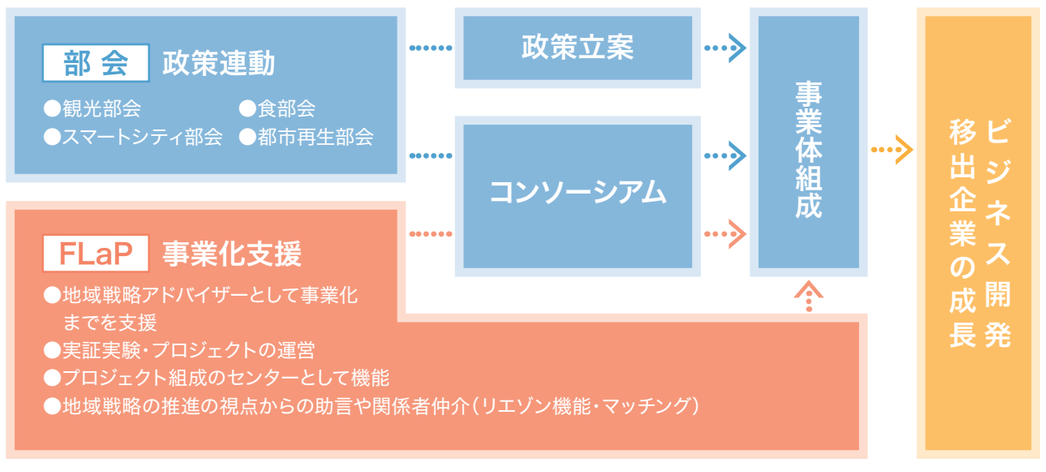
FDCの事業化・コンソーシアム支援において、プロジェクトの運営、オープンイノベーション及び事業開発機能、企業の国際化と海外企業の誘致、事業展開支援を行う**事業化支援**。

コンソーシアム

部会やFLaPから発生する、有志チームによる事業検討（詳細F/S※）の場。

※F/S…フィジビリティスタディ（feasibility study）とは、プロジェクトの実現可能性を事前に調査・検討すること

事業創出プラットフォームとしてのFDCの仕組み



FLaP-FDCの事業化支援体制

福岡都市圏をイノベーションのプラットフォームとして、200を超えるFDC会員を起点としたオープンイノベーションの実施や新規事業開発、企業の海外展開、海外企業の誘致など、福岡を起点とした事業の展開を加速化させていきます。

FDC Launch Program（FLaP）のビジョン

FDCの200を超える会員ネットワークや行政、国際機関との連携によりFLaPを運営する。事業構築プロセスの中でも、市場を理解し、ターゲット獲得方策とビジネルモデルを構築する「事業モデル化」、サービス及びビジネスモデルを詳細検討し、実行案を策定する「事業プラン化」、市場に打って出る「事業化・ビジネス化」のフェーズにおける事業化支援を行う。

●FLaP 一事業化支援の主なメニュー

1. ビジネスマッチング（ビジネスパートナー、業務提携、販路開拓）
2. 資金調達
   （金融機関、ベンチャーキャピタル、アクセラレートファンド等）
3. 実証実験
   （プロトタイプの開発、実証実験フィールドの提供、地元調整）
4. アドバイザリー（ビジネスディベロップメント、プロモーションなど）

●FLaP特徴

FLaPは左記の支援に加え、FDC会員ネットワークを始めとする様々な事業創出プログラムを取りまとめることにより、他にはない重層的な事業支援体制を構築。

1. Fukuoka Mirai Incubation Program
2. Open Network Lab FUKUOKA
3. New Business Creation Program

会員サービス

正会員　6口以上（30万円から）

- ●総会の議決権
- ●部会への参加
- ●部会資料DL
- ●コンソーシアム組成
- ●FDCサロン・ネットワーキング・交流会参加
- ●知的財産物 利用可能
- ●FLaP支援全般

賛助会員 1口以上（5万円から）

- ●部会資料DL（一部）
- ●FDCサロン・ネットワーキング・交流会参加

FDC会員のメリット

- ●地域戦略の担い手となる
- ●福岡の主要プレーヤー、海外とのネットワーク構築
- ●新規事業開発に活用
- ●地域戦略に関する情報にアクセス